

世田谷区衛生検査センター 年報

第6号

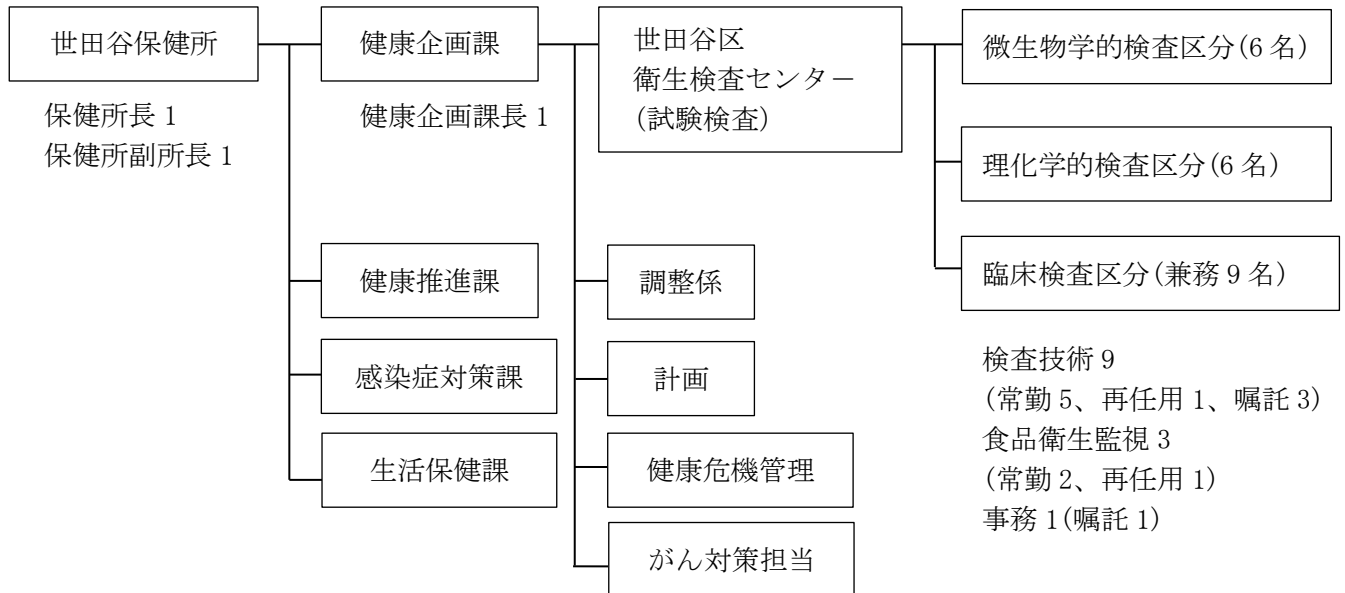
令和3年度版

1	組織	1
	(1) 構成および人員	1
2	事業内容及び実績	2
	(1) 食品衛生検査	2
	(2) 放射性物質検査	3
	(3) 環境衛生検査	3
	(4) 臨床検査	5
	(5) 家庭用品検査	6
3	相談品等検査結果	7
4	精度管理	8
	(1) 東京都・特別区衛生検査機関における精度管理調査	8
	(2) 外部精度管理調査	8
5	会議・研修・学会等・参加状況	9
	(1) 地方衛生研究所（会議・研修）	9
	(2) 学会	10
	(3) 研修および講習会	10
6	所内実施研修	11

1 組織

(1) 構成および人員

(令和3年4月1日現在)



2 事業内容及び実績

世田谷区衛生検査センターでは、区民の食生活、生活環境、感染症等に関する安全確保のための検査を実施している。

令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、検体数が例年よりも減少している。保健所の関係課、および区民からの依頼を受けて下記の検査を実施した。

(1) 食品衛生検査

世田谷保健所生活保健課の衛生監視業務に伴い区内で製造された食品、一般に流通する食品等の細菌検査および食品添加物、残留農薬等の化学検査を実施している。また、生活保健課に区民から寄せられた相談等にもなう検査にも対応している。令和3年度は食品細菌検査で68検体、食品化学検査で25検体の検査を実施した。検査項目数については表1に示した。

表1 食品衛生検査項目数

検査項目		検査項目数
食品細菌	細菌数	67
	大腸菌群	67
	大腸菌	67
	黄色ブドウ球菌	67
	サルモネラ	67
	腸管出血性大腸菌 ^{※1}	390
	腸炎ビブリオ	0
	セレウス	0
	カンピロバクター	14
	真菌	0
	ウェルシュ	0
	リステリア	0
	黄色ブドウ球菌エンテロトキシン型別	1
	クロストリジア	0
	その他	0
	残留抗生物質簡易検査法	0
	成分規格 ^{※2}	細菌数
大腸菌群		2
大腸菌最確数		0
サルモネラ		0
黄色ブドウ球菌		0
腸炎ビブリオ最確数		0
計		740
食品化学	保存料	140
	甘味料	100
	酸化防止剤	60
	着色料	260

漂白剤	0
殺菌料	0
発色剤	0
発酵調整剤	0
品質保持剤	0
油脂試験	0
防かび剤	0
特殊窒素化合物	0
強化剤	0
酸味料	0
放射性物質	0
重金属類	0
官能試験	0
抗菌性物質等	0
農薬	580
アレルギー物質	0
容器包装	0
その他	20
計	1160

※1 腸管出血性大腸菌 0157、026、0111、0103、0121、0145 の 6 血清型の検査を実施している。

※2 成分規格の件数は再掲。

検査項目の設定は食品衛生法等による。

(2) 放射性物質検査

平成 24 年度より、区内保育園、区立小中学校の給食、川場村移動教室提供食および区内流通食品の放射性物質検査を実施している。また、消費者庁より貸与を受けた機器を使用し、区民検査を実施している。検査項目はセシウム 134 および 137 で、検体数と検査項目数は表 2 に示した。基準に適合しないものはなかった。

表 2 放射性物質の検査数

依頼元	検体数	検査項目数
学校・調理場	401	802
保育園	926	1,852
生活保健課 ^{※3}	0	0
その他	22	44
食品の放射性物質区民検査	1	2
計	1,350	2,700

※3 食品化学の放射性物質検査件数を再掲。

(3) 環境衛生検査

世田谷保健所生活保健課の衛生監視業務に必要なプール水、公衆浴場水等の水質検査を実施している。令和 3 年度は井戸水が 5 検体、利用水^{※4}が 171 検体、プール水が 119 検体の検査を実施した。また、おしぼり等の検査として 1 検体を実施した。

その他の一般環境検査（室内空気・真菌検査等）を 0 検体実施した。検査項目数について表 3 に示した。

表 3 環境衛生検査項目数

検査項目		検査項目数	
井戸水	細菌	一般細菌	5
		大腸菌 (E. coli)	5
	化学	硝酸態・亜硝酸態窒素	5
		鉄	5
		塩化物イオン	5
		過マンガン酸カリウム消費量	5
		pH 値	5
		臭気	5
		色度	5
		濁度	5
		外観	5
		揮発性有機化合物	100
		金属類	0
		その他	0
		計	
利用水※ ⁴	細菌	一般細菌	6
		大腸菌群	137
		大腸菌 (E. coli)	6
		レジオネラ属菌	140
		レジオネラ PCR	11
		従属栄養細菌	0
		その他	0
		化学	硝酸態・亜硝酸態窒素
	鉄		0
	塩化物イオン		0
	過マンガン酸カリウム消費量		131
	pH 値		143
	臭気		0
	色度		0
	濁度		143
	外観		0
	金属類		0
	その他		0
	計		717
	プール水	細菌	一般細菌
大腸菌			118
レジオネラ属菌			12
レジオネラ PCR			1
化学		pH 値	118
	濁度	118	

		過マンガン酸カリウム消費量	118
		計	603
おしぼり等 ※5	細菌	一般細菌数	1(0)
		大腸菌群	1(0)
		黄色ブドウ球菌	1(0)
		異臭	1(0)
		変色	1(0)
		異物	1(0)
		計	6(0)
		その他の一般環境検査	10
		計	390

※4 利用水には浴槽水、冷却塔水、循環給湯水、修景水を含む。

※5 おしぼり等の () 内の数はタオルの数を再掲した。

(4) 臨床検査

感染症の発生予防及びそのまん延の防止を目的とする腸内細菌やノロウイルス、
ぎょう虫卵の検査、結核接触者検診の QFT 検査および性感染症予防事業に伴う HIV
抗原抗体検査、梅毒検査を実施している。表 4 に検査項目数等を示した。

表 4 臨床検査の検体数および検査項目数

検査項目		検体数	検査項目数
梅毒	STS 法定性	49	49
	TPHA 定性		49
	STS 法定量		0
	TPHA 定量		0
計		49	98
H I V	ELISA 法	49	49
	計	49	49
寄生虫	寄生虫卵※6	147	147
	虫体鑑別	0	0
計		147	147
腸内細菌※7	健康相談	469	2,156
	患者関係者等	148	148
	その他※8	0	0
計		617	2,304
ノロウイルス	リアルタイム PCR	12	12
	計	12	12
結核	QFT	103	103
	計	103	103
総計		977	2,713

※6 寄生虫卵はセロハンテープ、スライド、集卵法を含む。

※7 腸内細菌の健康相談の項目は、赤痢、チフス、パラチフス、その他のサルモネラ及び腸管出血性大腸菌 0157 であり、患者関係者等の項目は、さらに腸管出血性大腸菌 026、腸管出血性大腸菌 0111 を含む。令和 3 年の患者関係者等の項目は、0103、0121、0145 も含む。

※8 腸内細菌のその他とは、ノロウイルス検査時、もしくは感染症発生時に行う検査を表す。項目は、赤痢、チフス、パラチフス、その他のサルモネラ、腸管出血性大腸菌 0157、腸管出血性大腸菌 026、腸管出血性大腸菌 0111 である。令和 3 年の項目は、0103、0121、0145 も含む。

(5) 家庭用品検査

世田谷保健所生活保健課より搬入される繊維製品や接着剤中に含有されるホルムアルデヒドおよび洗剤の検査を行っている。検査項目数を表 5 に示した。

基準に適合しないものはなかった。

表 5 家庭用品検査項目数

検査項目		検査項目数
塩化水素・硫酸 (NaOH 消費量)		0
水酸化ナトリウム・水酸化カリウム (HCl 消費量)		5
強度試験	漏水	5
	落下	5
	耐酸・耐アルカリ	5
	圧縮変形	5
ホルムアルデヒド		30
メタノール		0
計		55

3 相談品等検査結果

世田谷保健所生活保健課によせられた相談のうち、検査の依頼を受けたものについて下表にまとめた。

相談内容	検査対象物	検査項目	検査結果		
			検査項目	検査結果	
オイスターソースを食べると胃痛、下痢がする。	オイスターソース（未開封品）	細菌数、大腸菌群、大腸菌、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌、黄色ブドウ球菌	検査項目	オイスターソース	
			細菌数（/g）	300 以下	
			大腸菌群（/g）	10 未満	
			大腸菌	陰性	
			サルモネラ属菌	陰性	
			腸管出血性大腸菌	陰性	
			黄色ブドウ球菌（/0.1g）	陰性	
川の水が黄色くなっている	川の水	顕微鏡観察、フレイム原子吸光法による鉄濃度の測定	検査項目	川の水（黄色に変色した水）	川の水（変色が見られた地点より下流の澄んだ水）
			顕微鏡観察	赤茶色の細長い棒状物質（鉄バクテリアと推定したが、菌種の同定には至らなかった）	赤茶色の細長い棒状物質（鉄バクテリアと推定したが、菌種の同定には至らなかった）
			フレイム原子吸光法（鉄濃度）（mg/L）	3.57	0.78
区民宅のトイレに赤い粒状のものがある	赤い粒状のもの	顕微鏡観察	検査項目	赤い粒状のもの	
			顕微鏡観察	多足の生物であった（種類の同定には至らなかった）	

4 精度管理調査

(1) 東京都・特別区衛生検査機関における精度管理調査

都区保健衛生試験検査機関における検査技術の維持・向上を図ることを目的として、「精度管理調査実施要綱」（平成2年3月20日付）に基づき、精度管理調査が行われている。（事務局：東京都健康安全研究センター）

内部精度管理調査として参加した。

年月	検査区分	内容
令和3年9月	水質化学	（自由参加項目）塩化物イオン、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、過マンガン酸カリウム消費量、鉄及び亜硝酸態窒素の定量試験
令和3年9月	食品化学	加工食品中の漂白剤（二酸化硫黄及び亜硫酸塩類）の分析、（自由参加項目）乾燥果実中の漂白剤（二酸化硫黄及び亜硫酸塩類）の分析
令和3年10月	食品細菌	細菌数の測定、大腸菌群及び黄色ブドウ球菌の検出
令和3年10月	腸内細菌	赤痢菌、サルモネラ、腸管出血性大腸菌（O157、O26及びO111）の分離・同定 （自由参加項目）腸管系病原菌

(2) 外部精度管理調査

（財）食品薬品安全センターの配布検体による食品衛生外部精度管理調査事業に参加した。

年月	検査区分	内容
令和3年7月	理化学	食品添加物検査Ⅱ ソルビン酸
令和3年8月	理化学	残留農薬検査Ⅱ アトラジン、クロルピリホス、ダイアジノン、フェントエート、フルトラニル、マラチオン6種農薬中3種
令和3年11月	理化学	食品添加物検査Ⅰ 着色料（酸性タール色素中の許可色素）
令和3年8月	微生物学	腸内細菌科菌群（生食用食肉）
令和3年10月	微生物学	黄色ブドウ球菌検査 加熱食肉製品

5 会議・研修・学会等・参加状況

(1) 地方衛生研究所（会議・研修）

年月日	会議・研修	開催地等	参加人数
令和3年6月4日	令和3年度地方衛生研究所全国協議会臨時総会	オンライン	1
令和3年6月9日 ～6月10日	衛生微生物技術協議会第41回研究会	オンライン	2
令和3年7月9日	第75回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部総会	オンライン	1
令和3年9月9日	令和3年度「地域保健総合推進事業」に係る第1回関東甲信静ブロック会議	オンライン	1
令和3年10月8日	令和3年度地方衛生研究所全国協議会第35回関東甲信静支部ウイルス研究部会	オンライン	1
令和3年10月20日	令和3年度「地域保健総合推進事業」に係る関東甲信静ブロック地域レファレンスセンター連絡会議	オンライン	1
令和3年11月15日	令和3年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第11回公衆衛生情報研究部会	オンライン	1
令和3年11月24日	令和3年度「地域保健総合推進事業」に係る関東甲信静ブロック地域専門家会議（微生物）	埼玉県	1
令和3年11月25日 ～11月26日	第58回全国衛生化学技術協議会年会	オンライン	1
令和3年12月9日	令和3年度市立衛生研究所・衛生試験所連絡協議会総会	書面	1
令和3年12月24日	令和3年度「地域保健総合推進事業」に係る第2回関東甲信静ブロック会議	オンライン	1
令和4年2月9日 ～2月10日	第33回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会総会・研究会	書面（総会） オンライン （研究会）	1
令和4年2月17日 ～2月18日	令和3年度希少感染症診断技術研修会	オンライン	2
令和4年2月18日	令和3年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第34回理化学研究部会総会・研究会	オンライン	1

年月日	会議・研修	開催地等	参加人数
令和4年3月15日 ～3月17日	令和3年度検査機関に対する検査能力精度管理等の向上を目的とした講習会（地衛研基礎講習）腸内細菌分野	オンライン	1

(2) 学会

年月日	学会名	開催地	参加人数
令和3年10月26日 ～11月9日	日本食品衛生学会第117回学術講演会	オンライン 及び配信	1

(3) 研修および講習会

年月日	内容	開催地又は場所	参加人数
令和3年10月12日	特別区職員研修所 令和3年度専門研修「検査技術」	特別区職員研修所	2
令和3年11月25日 ～11月26日	JMS-Q1050GC 基本コース	東京都	1
令和4年1月12日	特別区職員技術研修 残留物質（農薬等）	東京都健康安全研究センター	1

6 所内実施研修

年月	検査区分	研修内容	開催場所	出席者
令和4年3月	微生物	食品細菌検査（黄色ブドウ球菌）	世田谷区衛生 検査センター	食品衛生 監視員